

大学図書館問題研究会 京 都

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34

京都橘女子大学図書館 田北十生气付

(Tel) 075-574-4118

(Fax) 075-574-4124



大図研京都支部例会のご案内

恒例となりました大図研の支部例会が開催されます。

今回は「大学図書館と図書館の自由」について、日図協の自由委員会メンバーである若井勉氏（立命大）に最近の図書館の自由をめぐるさまざまな動きについて、お話していただくと思っております。

最近の「少年犯罪報道」のあり方やメディアの対応は資料提供を使命とする図書館に新たな問題を投げかけています。またメディアの多様化と表現の自由に関わっても、多くの問題が含まれているのではないのでしょうか？

今回の例会では最近の事例を数多く紹介していただくとともに、個々の大学の事例についても交流したいと考えております。

むずかしそうなテーマではありますが、気楽な気分に参加してみませんか。お待ちしております。（会場地図は5ページ参照、例会終了後ちょっと早いけど忘年会します。）

日時：11月27日（土） 午後2:00～5:00

会場：日本イタリア京都会館2F会議室

内容：「大学図書館と図書館の自由」一近時の事例紹介とその問題点一

講師：若井勉氏

（立命館大学）

参加費：無料

ゴ-ヒ-は
色々だよ!!



| | |
|----|----------------------------|
| 目次 | 大図研京都支部例会のご案内 …… 1頁 |
| | 洋書通販「アマゾン・コム」について考える …… 2頁 |
| | 新企画等の募集について …… 5頁 |
| | 支部例会会場地図 …… 5頁 |
| | 第2-3回支部委員会報告 …… 6頁 |
| | 連載小説(22回)リュウ …… 7頁 |
| | 数珠つなぎ(43回) …… 8頁 |

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで
編集気付（kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp）田北まで

洋書通販「アマゾン・コム」について考える



篠原俊夫

1. はじめに

嘗て洋書の購買者層は、価格と入手までの手間を考えると大学等に所属する研究者以外は、ごく例外的なマニアか職業上、どうしても外国文献を必要とする人しか想定し得なかった。その状況は、明治以来つい最近までそれほど変わっていなかったと思う。強いて言えば、日本の円の力が昔と比較にならないほど強くなったから、洋書が高価なものだという意識は薄くなっている。

しかし、取り寄せるのが面倒だという意識に際だった変化はなかったと思う。しかし、インターネットを介した通信販売が私たちの古い常識を根底から覆してしまった。価格も入手に要する手間と時間も日本の出版物を購入するのと変わりがなくなった。

2. アマゾン・コムによる洋書購入について

私はつい最近になって世界最大と言われるインターネット書店、アマゾン・コムを洋書購入の手段として利用するようになったのだが、その経験から来る実感である。アマゾンを利用する以前は、京都大学生協が提供しているインターネット通販、On Line Pacificのサービスを通じて、洋書を購入するのが殆どで、その他には丸善の店頭で現物をみて購入したり、東京へでかける用事のある時、銀座のイエナ書店か神田の古書店街の洋書店をのぞいて購入するくらいしかなかった。

十年以上も遡れば、もっぱら丸善書店に注文して、3ヶ月か場合によっては、半年か、それ以上も待って、忘れた頃に入手していた。

これでは書評を見て読みたくなって大急ぎで注文しても、本が手元に届く頃には読みたいと思う気持ちも薄れている。期限付きの研究論文には、入手に時間がかかりすぎて間に合わない。ただ、これまでは日本の研究者が平等に負わされた不便であり、ハンディであった。しかし、今やインターネットを利用する人とその便利さに気づかず利用しない人に大きな格差を生みつつあるのではないだろうか。

生協インターネットを利用して洋書を購入できるようになって、洋書購入も随分気軽にできるようになった。買わなくても済むものまで買ってしまい後悔することもあるが、便利になった。定価の25%という手数料は、安くはないが、生協ならではの安心感もある。

アマゾン・コムの評判は知っていたけれど、生協インターネットでも十分と感じていたので、強いて利用して見ようと思わず今日まで来た。しかし、世界一と言われるアマゾン

・コムを使い勝手を知りたいと思って、登録し、試験的に2, 3点注文してみたことがアマゾンにのめり込むきっかけになった。総じて価格が安く、注文してから到着までが早いのである。

無論、膨大な書籍データベースのカバー率は優秀で、大抵の書籍は品切れのものまで含めて検索、注文できる。すぐに入手できないものでも探してくれて、その価格を知らせてくれる。全くの古書には対応できないが、少くも古い出版年の図書でも探索してくれるというのは読者にはありがたいサービスである。購入価格の点でも、トータルでアマゾンが上回る理由は、割引があるからであることと、手数料の点で、生協の場合、一律に定価の25%を価格に上乘せするが、アマゾン・コムは、本の価格と関係なく、1件について送料込みの手料を5.95ドル上乘せする。

当然、定価が高い本の場合、アマゾンで購入するメリットは大きい。それに特殊な主題の本でなく、最新の出版でなければ、2割か場合によっては、それ以上の割引がある。手数料が価格の割引で相殺されて驚くほど安く入手できることもある。

注文の手続きが簡単であることも無視できない要素である。アマゾン・コムに一度登録して、支払いをクレジットカードを使ってやるように設定するとそれ以後は、アマゾン・コムのデータベースを検索して必要な本を見つけたら、その本を購入するという箇所をクリックすれば、注文の手続きが終わる。特殊なものでなければ、2週間から20日くらいで自宅に本が到着する。

思わず早いと言ってしまうほど早い。日本のベストセラーを書店の店頭在庫がなくて注文でとりよせても、場合によっては1週間で届かないものもあるだろう。それを思えばインターネットに接続して、検索、クリック、あとは待つだけというアマゾン・コムのシステムの簡便さは驚くばかりである。全く記入を必要としないのである。平均して、30ドルを上回るくらいの定価の本なら、定価にその時の円の実勢価格を乗じたくらいの価格で入手できると考えてもよい。アメリカから定価並の支払いだけで本を入手できる計算になるのだ。洋書は高いという考えはもはや古いというしかないと実感する。

3. インターネット通販がもたらす大学図書館と書店への影響について

ここで問題にして見たいことがある。一つは、研究者（特に人文社会系）と洋書入手の方法の問題である。大学の公的な経費で購入する研究用の図書以外の資料は必要としないという研究者もいるかも知れないが、多くの研究者は様々の理由から私費で洋書を購入する必要が生じると思われる。これまで出入りの業者に注文して取り寄せるか、生協に注文していた研究者がアマゾンの便利さを知って、私費による洋書購入に関する限りアマゾンに依存するようになることが予想される。

大学の公費で購入する研究用図書が事務上の手続きと整理に要する時間のために絶えずいらだちを覚えていた研究者は、あまりの格差に愕然としているかも知れない。多くの研究者は、自身の置かれた研究上の環境が劇的に変化しつつあることを実感しているのではなかろうか。

もし私的に使える経費が潤沢なら、大学図書館は頼むに及ばずという気持ちになるだろう。便利になることはいいことだが、研究者の図書館を見る目が厳しくなるとすれば、無視できない。私的には、情報入手の手段が改善されても、大学図書館をはじめとする公的な情報環境が改善されなければ、研究者のトータルな研究環境が整ったことにはならない。

とは言え、国立大学をはじめとする大学のシステムの根本的な変革を必要とするだけに簡単には対応できそうにない。

もう一つは、既存の国内洋書販売業者の存続に関わる問題である。インターネット通販による書籍の購入が研究者の常識になれば、日本の既存の書店が洋書の新本を販売して利益をあげることが殆ど不可能になることを意味するので、書店側から見れば、看過できない深刻な問題も含んでいる。無論、書店も事態を座視しているわけではなく、自前のインターネット通販の窓口を開設する業者が増えてきた。

しかし、洋書販売に関する限り現地で大規模に展開しているアマゾン・コムのような業者に立ち向かうには困難であるように思える。

洋書販売業の果たしてきた歴史的な役割と現況について、私は関心を持ち続けてきた。しかし、このままでは、洋書販売業者が研究者を取り巻く研究上の環境が変化するなかで、行く先が見えてこないという危機意識を感じる。一読者としての私は、アマゾン・コムに接続しては手頃な値段の洋書を買って満足している。しかし、大学図書館員としての私は先行き不安と感じている。

アマゾン・コムをはじめとするインターネット通販による書籍の販売は、ネット上の販売品目のなかでもっとも成功をおさめたもののひとつに違いない。しかし、今なお発展途上にあり、ますます利用者にとって便利なシステムに成長してゆく可能性を含んでいる。

反面、インターネットを利用できない（利用しない）研究者と利用できる研究者に大きな格差を生む可能性があること、公的な研究環境の整備を待つより、私的に対応する方が便利という意識を生む可能性があること、既存の業者の存続を脅かす面があることなどを考える必要がある。

4. おわりに

以上、結果的にアマゾン・コムの利点を強調しているような印象をあたえかねない文章になってしまったが、すべての書籍について、アマゾン・コムが他より安いというわけではない。例えば、アメリカ図書館協会の出版物で、書評を読んで面白そうなので注文する気になり、まずアマゾン・コムで検索して見たら書評に掲載された値段より、10ドルも高い価格になっていたこともある。

念のため、生協インターネットで検索して価格を調べると書評に掲載されている通りの価格が掲載されていた。当然、その本については、生協インターネット経由で注文した。10ドル程度で割引のない書籍だと、手数料が一定額のアマゾン・コムの方がわずかだが高くなることがある。そのあたりは入手までに要するトータルの時間と経費がもつ意味が個々の読者によってことなるため、一律に論ずることはできないと思う。

インターネット通販による書籍販売が研究者個人や大学図書館にもたらした影響については、まだ今後の推移を見なければ分からないことも多い。

(しのはら としお 京都大学総合人間学部図書館)

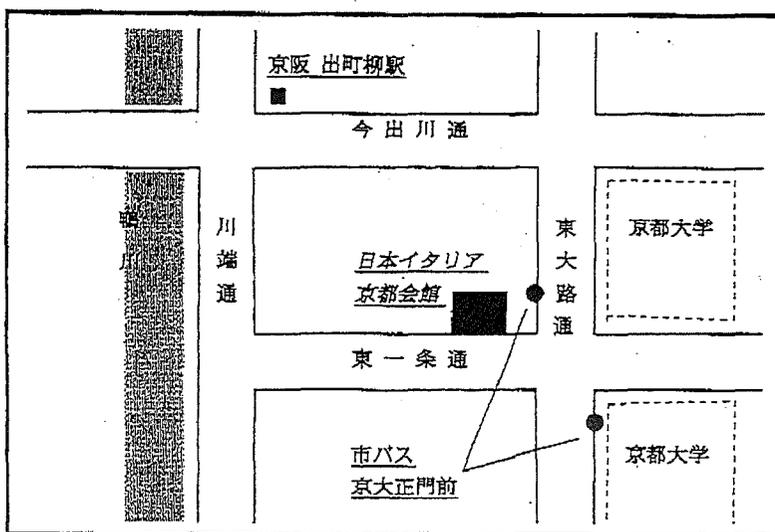
新企画等の募集について

- (1) 連載小説「リュウ」が完結しました。長い間ご愛読ありがとうございます。完結を機に、みなさまからの感想の投稿をお待ちしています。
- (2) 次号(11月号)からは「私のインターネット活用術」をシリーズ物として連載していく予定です。「数珠つなぎ」とは趣の異なった連載になることを期待しています。皆さんからの積極的な投稿をお願いします。
- (3) インターネットで大図研京都支部のホームページを立ち上げたいと考えています。
つきましては、みなさまからのご要望・ご意見をお寄せ下さい。
みんなで作るホームページを目指しています。
また、ご自分のホームページをお持ちの会員の皆さんは、編集部までお知らせ下さい。支部報に掲載したいと思います。
- (3) 応募・投稿は、出来るだけメールで下記アドレスへ送信して下さい。

kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp

F A X 075-574-4124 (京都橘女子大学図書館)

大図研京都支部例会会場地図 (日本イタリア京都会館)



市バス 31、65、201、206「京大正門前」下車、徒歩1分

京阪電鉄「出町柳」下車、徒歩15分

第2～3回京都支部委員会報告

1999年10月5日(火) 同志社大学クローバーハウス (午後7時～9時)

出席: 篠原、中嶋、呑海、田北、井上、大館、大綱 (オブザーバー)

【報告事項】

1. 会員情報 ・異動 呑海 (京大) 電気電子工学系図書室→附属図書館
2. 財政情報 ・1999年度会費納入者 65名

【審議事項】

1. 全国大会について ・会場と開催時期
 - 第1候補 立命館大学 8月下旬(株)クレオテックが宿泊も含めてセッティングを引き受けてもらえるので大会運営が円滑に運ぶことができる。
 - 第2候補 ブライトンシティ山科
 - 第3候補 京都テルサ 8月19日(土)～21日(月) 日程的に参加者が少ないことが予想される。
2. 今年度の活動について
 - 1) 第1回例会 ・11月27日(土)
 - ・参加者数を30名と想定して準備する。
 - ・内容:「大学図書館と図書館の自由」近時の事例紹介とその問題点
 - ・終了後、忘年会を実施
 - 2) 近畿4支部新春合同例会 ・1月22日(土)
3. 支部報について
4. 支部報復刻版の発行について
 - ・索引は網羅的なものはやめ、記事の種類別にまとめた簡単なものにする。
5. 研究集会(7.3)の記録の出版化について
6. 京都支部のホームページについて ・ホームページを立ち上げる方向で検討中。
 - ・内容(支部紹介、入会案内・手続、ML、支部委員会報告、研究会報告等)
7. 次回支部委員会予定 10月26日(火)

1999年10月26日(火) 同志社大学クローバーハウス (午後7時～9時)

【報告事項】

1. 会員情報
2. 財政情報

【審議事項】

1. 全国大会について
 - ・下記の事項についてクレオテック(株)に見積りを依頼。
 - ・日時: 2000年8月26日(土)～28日(月)
 - 第1日目～全体会、基調講演
 - 第2日目～分科会
 - 第3日目～分科会 OR 全体会
 - ・会場: 立命館大学国際平和ミュージアム
 - ・依頼事項
 - 1) 全体会、分科会の会場設定-会場設営、看板、録音、音響など
 - 2) 第1日目の懇親会企画-大学近辺のホテルにて
 - ・宿泊について
2. 今年度の活動について
 - 1) 第1回例会 ・日時: 11月27日(土) 午後(会場は13:00～17:00で予約)
 - ・会場: 日本イタリヤ京都会館2F会議室(30～40名収容可能)
 - ・内容:「大学図書館と図書館の自由」近時の事例紹介とその問題点
 - ・講師: 若井勉氏を予定
 - ・終了後の忘年会会場
 - 2) 近畿4支部合同例会 ・日時: 1月22日(土)
3. 支部報について
4. 支部報復刻版の発行について
5. 研究集会(7.3)の記録の出版化について
6. 京都支部ホームページについて
7. 次回支部委員会予定 12月7日(火)

新連載小説 第22回 (最終回)



リ ユ ウ

西田 治

翌日、私が社員食堂へ行こうとしていると陽子が小走りでやってきた。そんな陽子がどうゆうわけか私にはリュウが喜んで尾を振ってじゃれてくるさまとだぶって見え、可愛い感じがした。

「ねえ、今日は休まないの？」

「うん」

「昨日はどうだったの？ デイト！」

「そんなんじゃないって言ったろう！」

「さあ！ どうだか？」

私は目鼻立ちが柔らかな陽子の顔を正面から眺めながら云った。

「そんなことより、今度の週末、呑みに行かない？」

私は思わぬへそくりが増えたことで、少し気分が豊かになっていた。それで、つい口を滑らせてしまった。

「わあ！ それっておごってくれるてこと？」

「ああ」と私は多少照れていった。

「嬉しいわ！ なんか今週はついてる！」

「なんで？」

「昨日も誘われていったの。但し女二人でね。ほら、この前私が云ってた友達と街でばったり会っちゃって・・・」

「ふ～ん。それで」

「そう、久しぶりだもん。盛り上がっちゃったってわけ！ そうそう大友さんの話まで出ちゃって・・・」

「・・・？」

「大友さんとこ、四匹も犬飼ってるんだってね。私知らなかったわ！ リュウだけかと思っただのに！」

陽子の言葉に、私は頭に血が登っていくのが判った。

「なに！ 誰がそんなことを？」

「奥さんが言ってたって友達が・・・。世話が大変だって。そりゃあそうよね。四匹もいたんじゃ」

陽子は言い終わると私の顔を見つめていった。

「あら、どうしたの？」

「さっきの話は無しだ！」

私は陽子と反対の方向に視線を向けて、早足で歩き出した。陽子はポカ～ンとした面持ちで、去っていく私の後ろ姿を眺めていたが、やがて思い直したように、また、小走りに私の後を追ってきた。

「ねえ！ 大友さん！ 私何か気に障ること云った？」

陽子は少し大声で云った。

「・・・！」

「犬のこと！ 四匹いるってこと！ あれ、内緒だったの？」

私は、急に立ち止まって、追ってくる陽子に向かって云った。

「とにかく、犬のことは云うな！」

私は、それだけ云うと再び早足で社員食堂へ向かった。

ところが走ってくる陽子の足音を後ろに聞きながら何故か腹の奥の方からゆっくりであるが抑えがたい笑いがこみ上げてきた。

私は思わず相をこわすのと、とうとう声に出して笑わずにおれなかった。

「どうしたの？」と追いついてきた陽子が、訳も分らず一緒に笑い出した。

陽子は笑いながら「どうしたのよ。いったい？ 世話が焼けるんだから～！」と云った。

二人は、立ち止まって、顔を見合わせると又、腹を抱えて笑いこけた。

(完)

